

知財で掴むアフリカドリーム～スタートアップが語るイノベーション大陸の魅力～  
(プログラム及び、モデレーター・パネリストのご案内)

新しい技術やアイデア、ブランディングは強力なビジネスツールです。  
そのようなツールを知財権として活用し、アフリカで活躍するスタートアップ企業から、  
これからのビジネスのヒントやアフリカの魅力などをお話しいたします。

【日 時】 8月28日 午後1時～2時半

【開催場所】 パシフィコ横浜(横浜市)アネックスホール F204

【プログラム】

- 議論 1 公的機関によるアフリカへの取組
- 議論 2 アフリカにおけるスタートアップ企業の現状
- 議論 3 知財戦略
- 議論 4 ブランディング
- 議論 5 将来展望

○ モデレーター(敬称略)



嶋野 邦彦(しまの くにひこ)(特許技監)

昭和60年4月 特許庁入庁(審査第五部制御発電)

平成7年1月 外務省経済局国際機関第一課長補佐

同17年1月 内閣官房知的財産戦略推進事務局参事官

同20年7月 総務部企画調査課長

同29年7月特許技監(現職)

アフリカ主要国知財庁の長官と親好が篤く、アフリカ広域知財庁  
の大臣評議会に出席するなど、アフリカへの造詣が深い。

○ パネリスト(五十音順)(敬称略)



大野正樹(おおの まさき)(マーズカンパニー代表取締役社長)

大手厨房機器メーカーで、冷凍・冷蔵技術の研究開発に携わり、その後医療機器メーカー等を経て、2016年10月株式会社MARS Company 代表取締役社長に就任。

独自性の高い製品の研究開発を進め、その技術は国内外で高い評価を得ている。

また、食品・医療分野でも東京大学と共同研究を進めている。2017年にJICAの支援事業に採択され、モロッコでの実証実験を推進中。



小澤里恵(おざわ りえ)(ルイズビィ代表)

2008年にアフリカンフェアでルワンダに出会ったことがきっかけで翌年伝統工芸品を輸入販売する会社を設立。

元々アフリカとの接点は何もなくゼロから始めた取組ではあったがアフリカの手仕事に魅了され、現在はルワンダとケニアで現地女性達と共にもの作りをしている。

二児の母。



川俣 洋史(かわまた ひろし)(ジェトロ 知的財産・イノベーション部長)

平成6年 特許庁入庁。

平成11年 通商産業省大臣官房

平成21年 ジェトロ デュッセルドルフ事務所

平成29年 審査第一部事務機器審査長

平成30年から現職

スタートアップの海外展開、オープンイノベーション促進、中小・中堅企業の海外での知財の保護・活用支援、等の事業を担当。

○ パネリスト(五十音順)(敬称略)続き



ゲタシュー・メンジスタイ(弁理士)

1994年 特許・技術移転及び開発部、部長

2004年 エチオピア特許庁長官

2008年 ゲタシュー&アソシエイツ法律事務所(エチオピア、アディスアベバ)、知財コンサルタント及び弁理士

2016年 知財コンサルタント(米国、バージニア州スプリングフィールド)

ゲタシュー氏は知財に対する深い知識を有し、知財分野における経験年数が長い。またアフリカ諸国の知財制度の発展に貢献し、知財及びブランド化ツールの重要性を実証する様々なプロジェクトを成功裏に実施してきた。



ジェヒエル・オリバー(ハロートラクター社 CEO)

氏はハロートラクター社の創設者であり、CEOである。ハロートラクター社は、農業技術会社であり、トラクター所有者をトラクターのサービスを必要とする小規模農場主と結びつける役割を果たしている。同社で氏は経営管理及び戦略の責任を負っている。また社会的起業家としての仕事において数多くの賞を受賞している。その一つは、雑誌フォーリン・ポリシーにより2016世界の頭脳トップ100に選出されたことである。

氏はオバマ政権下において、アフリカでビジネスを行う際の大統領の諮問委員会の委員に任命され、二年間委員を務めた。ごく最近では、同委員会において技術分科委員会の委員長を務めた。ハロートラクター社を創業する前には、コンサルティング業、投資銀行業務に携わっていた。

現在はケニアのナイロビに妻と娘と住んでいる。

○ パネリスト(五十音順)(敬称略)続き



マーク・セリコレ(WIPO アフリカ地域部長)  
2012年～現在 WIPO アフリカ地域部長  
2011年～2012年 WIPO 事務局長室副室長  
2010年～2011年 WIPO 事務局長室暫定室長  
2007年～2009年 WIPO 協力開発部門事務局次長顧問  
1999年～2007年 WIPO アフリカ地域部副部長

氏は WIPO に入ってから以来、一貫してアフリカにおける WIPO の技術支援活動の調整、実施に携わってきた。またアフリカ諸国の知財制度及びその進展に関して幅広い知識を持ち、二つのアフリカ地域知的財産庁である ARIPO(アフリカ広域知的所有権機構)及び OAPI(アフリカ知的所有権機構)の活動を支えてきた。



ローリー・ウエイン・ボラー(CIPC 長官)  
氏は、内閣任命の南アフリカ共和国企業・知的所有権登録局(CIPC)長官である。  
南アフリカ高等裁判所の公認法廷弁護士であり、以前は弁理士として活動。  
企業のガバナンスに関するキング委員会の委員に任命されており、また知財庁長官の南アフリカ BRICS 代表を務めている。  
CIPC は南アフリカにおける企業及び知的財産法の登録・管理を管轄している。  
国際商標協会(INTA)により、将来のプロジェクトにおける知財庁の専門家グループ員に任命。  
数多くの国内・国際会議において CIPC の代表として参加し、講演している。それらの国際会議はシンガポール、ブラジル、ルーマニア、マレーシア、ドバイ、日本などで開催された。